

新潟県 公民館月報

昭和61年2月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・果林業会館内】

【電話・新潟 (0252) 24-6073】【振替新潟0-4049】

発行人 会長 佐藤 眞武

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 120円 年共 1,440円】



東本願寺高田別陸山門

現在の東本願寺高田別院の山門は、今から一六二年前の文政五年(一八二三年)に着工され、同十年に再建されたものである。(最初に建立された山門は、享和二年(一八〇三年)に炎上焼失。)

この山門の正式名称は、単層入母屋三戸門と言い、普通「大門」と言っている。

そして、その大きさは、棟立七間、棟長七間半、間口九間半、奥行七間もある。

また、虹梁の木鼻、葺股、尾垂木には動植物、中央扉の小脇目には、右に「のぼり龍」左には「くだり龍」を前後面の葺股には「十二支」をあしらった彫刻があり、更に、後面の南北の壁面には、「中国の故事」を意味した彫りが見られる。

この山門の建築者と彫刻者がはっきりしないのは残念ではあるが、その文化的、歴史的な意義は高く評価されてよいのではなからうか。

絵・上越市墨絵教室

丸山 清治

文・上越市社会教育指導員

染谷 哲夫

公民館建設費国庫補助

五四億一千八百万円(一七二館)

最盛期総枠の半額以下にダウン

「ハコモノ規制論」の台頭、「行政改革」「臨教審」の攻勢等により、公民館予算をとりまく情勢は一だんと厳しさを増している。このような背景のなかで実施された昭和六十一年度の「公民館施設費国庫補助獲得運動」の結果は厳しかった。すなわち六十一億一千八百万円の要求額に対し、最終内示額は五十四億一千八百万円(百七十二館分)となり、最盛期の百二十七億六千万円(四四〇館)に対し半額以下という大幅ダウンとなった。

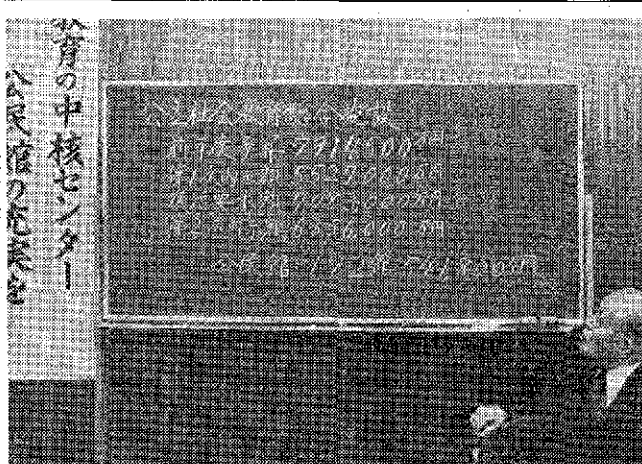
予算増額陳情運動のフィニッシュは、昨年十二月二十四日から二十六日まで集中的に実施された。東京千代田区平河町日本都市センターの運動本部には、都道府県公連および同公連連支部代表を約五十名が集まり、少教精鋭主義で本県からは井井農菜市長(公公連副会長)佐藤会長(新潟市中央公民館長)湯沢町教育長、県公連本田事務長が参加し陳情運動をくりひろげた。

文部省が大蔵省に対して要求した公立社会教育施設(公民館・県立総合社会教育施設・公立文化施設)費のうち公民館は六十一億一千八百万円(この表現をめぐって、衆・参議員と協文教部会、同文教制度調査会委員、大蔵省などの主張陳情に向けて運動を集中した。

第一次内示では、公立社会教育総合施設費総額で五十五億二千七百八百万円といたが、だだちに復活陳情を実施、とくに与党文教部会の有力メンバー代議士等に対し引き続きマンツーマン方式による陳情をこころみるを努力が続けられた。この結果、十二月二十五日深夜にいたる第二次内示(最終)が出、結局要求額の六十一億一千八百万円(九二館分)に対して五十四億一千八百万円(七二館分)と決定した。



陳情運動に参加した全国の代表者



内示結果を見る横山全公連会長

この結果について文部省社会教育局長は「公民館予算の減額については、社会教育施設全般のな

かで配分を考慮するので、前年度に対して実質的に後退するようなことはないだろう。」と語っている。次ページに、参考までに昭和61年度公民館建設費内示結果一覽表を載せた。



陳情道路をゆく全公連の主脳

昭和61年度公民館建築予定市町村

市町村名	公民館名	構造	延面積	工見	事込	費額
			m ²			千円
五 泉 市	五泉市中央公民館	R C	1,000		105,000	
湯 沢 町	湯沢町公民館	R C	2,385		520,000	
柏 崎 市	鯨波公民館	R C (400m ²) S (360m ²)	760		165,000	
豊 浦 町	豊浦町公民館	R C	1,680		311,276	
長 岡 市	上川西公民館	S	549		87,000	
計	5 館					

昭和61年度社会教育関係予算内示状況一覧 (社会教育局分)

(単位 千円)

事 項	前年度予算額	第1次内示額	復活要求額	第2次内示額	備 考
社会教育主事等海外派遣	10,995	10,445	—		
(生涯教育総合事業費)					
1. 社会教育指導員設置事業	691,200	622,080	691,200	691,200	
2. 生涯教育推進事業	91,868	82,199	88,549	88,549	生涯教育推進事業 75,200 郷土学習教材制作事業 13,349
3. 家庭教育充実事業	500,557	447,777	—		家庭教育(幼児期)相談事業 家庭教育総合推進事業
4. 青少年ボランティア参加促進事業	75,200	67,680	75,200	71,440	
5. 青少年科学活動促進事業(新規)	—	0	60,000	50,000	
6. 社会教育指導体制整備事業交付金	3,247,389	3,247,389	—		
(学習事業奨励費)					
1. 集団学習奨励費	490,400	441,400	504,400	—	学級等 家庭学習学級 青年学級・青年教室 婦人学級 成人大学講座
2. 地域活動奨励費	494,042	445,590	—		婦人ボランティア活動等 222,840 高齢者の生きがい促進総合事業 222,750
社会教育施設等モデル事業促進費	104,000	65,340	94,000	94,000	社会教育施設モデル事業 66,000 地域・企業連携促進モデル事業(新規) 28,000
通信教育地方受講者研究集会	8,273	7,726	—		
視聴覚教材等充実開発事業	220,000	198,000	220,000	220,000	
社会教育施設費	11,152,000	8,362,000	9,974,000	9,387,000	
公立社会教育総合施設	(7,914,500)	5,527,000	7,083,000	6,356,000	公民館 172館 5,418,000 県立総合社会教育施設 1館 122,000 公立文化施設 10館 816,000
公立社会教育専門施設	(2,163,500)	1,873,000	1,929,000	2,069,000	公立図書館 24館 1,484,000 公立博物館 7館 392,000 公立視聴覚センター 2館 112,000 公立婦人教育会館 1館 81,000
公立青少年教育施設	(1,074,000)	962,000	962,000	962,000	公立青年の家 1か所 56,000 公立少年自然の家 6か所 906,000
地域改善対策調査指導等	1,388,168	1,388,168	1,470,800	—	
地域改善対策集会所設備費	51,091	42,761	48,314	—	
地域改善対策集会所整備費	1,053,241	874,799	1,000,754	—	



今日大人の世「片隅に小さくなって正統」界に問題が多い。そのことが子供の世界に反したが、人との心の対立はエ映している。公民館のやるべきことについて問題がある。一口にいつて愛がては情に研究を重ねて努力して欠如している。おもしろい。愛は、大人並みの遊びもできる。と我慢と勇気をもってし、また自然を愛する心があれば、こそれ等の心構えを培う必要がある。

愛と我慢と勇気を

遠藤 威佐夫

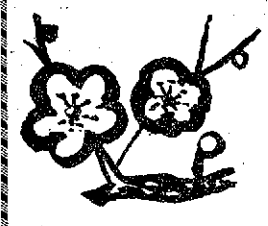
先日ある町で美術展を見た。「美しい」と思っている人が美しいと思つた。ところが美を創造する側に問題があるといふ。いわゆる美の世に派閥の対立がある、これでは美術を愛好する資格がないと思つた。

「人種を過保護にさせたい民主主義」ではないか。公民館の仕事に愛と我慢と勇気が必要と痛感した。

(西津市公民館長)

私が公民館の仕事についたとき、先ずその困惑に直面した。文化的行事等は、スムーズに運ぶものと思つていたので、参加者の言動は自己主張型の意見が、極めて強く、相入れなければ、ポイントする構えである。そこで互いに我慢が必要になつてくる。

私は川柳を作って楽しんでるが



と公民館 (公民館における視聴覚機器の利用を考える)

機器でなければわかってもらえない資料としての利用である。

3 まとめ

公民館における視聴覚機器の利用は、公民館職員の視聴覚教育についての認識を高め、研究を深めていくことが先決である。これらを公民館活動の中で活かしていく余地はまだある。今後どのように進めたらよいかをこの集会 (第26回 関東甲信越静岡公民館研究集会) で学びたい。

<討議内容>

先の発表の内容により熱心な質問意見が出され、公民館活動の中で視聴覚機材をどのように活用していきけるか、視聴覚機器及び機材・教材の管理・貸出しについて、著作権についてなどの問題が出された。

○ 常日頃の学級の中で録音をとって使っている民間放送のいい番組も録音して利用したいが、著作権関係の問題はないかという意見に対して、TVの著作権・放映権の問題をかかえている。これらの問題は共通の問題としてとらえていかなければならない。これからの時代のものとして貴重なテーマである。しかしながら、これらのニューメディアの情報が商業ベースにのっかって流されていく中で心が破壊されはしないかということが課題である。現在は心の教育が大事な時期である。

○ 公民館及び視聴覚センター等の集中管理、貸出しについては、学校・公民館等公共施設で利用する場合は無料である。しかし、無料ということは貸出しをした教材等がぞんざいに扱われるおそれがあるので注意したい。また、広域視聴覚ライブラリーというのがあり、共同で管理されている。育成会、交通安全会、公民館などで利用している。

各自治体の実情、規模、社会教育への姿勢によっても違うという現状である。

○ 視聴覚機器導入の仕方が壁にぶつかっているという意見が出されていた。

体育祭、文化祭等撮影して「あなたが写ってますよ。」という形で見せているが、お祭りさわぎのようになって、それ以上の進展がないのか残念である。住民の社会教育へ

の姿勢に係ってくることはあるがもっと前進したいと思う。という意見に対して、それでもよいのかなという気もする。また、現代は価値感の多様化が大きいので、その辺の指導はむずかしいと思う。悩むところに前進があるというような前向きな姿勢でいくほかないと思う。

討議内容は大別すると以上の3つになる。

<残された課題>

現在はまだまだ視聴覚教育について開拓していく余地は残されている。今後どのように活用していくかが大事なポイントになるように思われた。

指摘された事項として、以下のものがあげられた。

- 施設の充実
- 教材の収集・PR
- 教材づくり
- 学習方法の改善
- グループの育成指導
- ボランティアの育成
- 情報化社会に対応する学習機会及び方法の選択

<まとめ>

本日の集会内容は、情報化時代というのを、視聴覚と限定されて話されていたように思う。現実にはパソコン・ワープロ・光りファイバー等がでてきており、公民館がどのように対掘していくかがむずかしくなっている。

以前、視聴覚といえばレコードとテープ位であった。その後、そこに絵が(画面が)くっついてきた。そして現在、情報化ということについて考えてみれば、今ここにあるもの、作ったものを各種の状況の中で、出したり、受け取ったりすることが大事になっている。取捨選択を正しくして、いかに公民館活動に活用していくか研究されなければならない。

表紙の絵(色紙)募る

公民館の絵画教室での傑作・利用グループのなかで絵をよくする人の作品など、なるべく多量(数十長)で書かれたもの、旧跡・文化財(なごのほ)か、季節感を表現する風物なを期待します。

これから応募して下さる方は、秋、冬、春などの季節に合致した絵柄を望みます。

絵の題名又は四百字程度絵の作者と別の人の書いたものでも結構です。採用のものには図書券など薄謝をお贈りいたします。

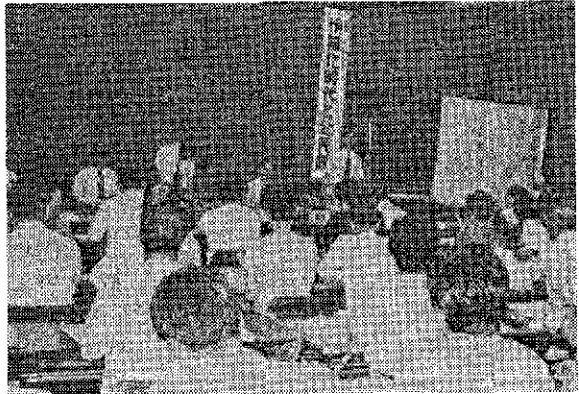
(本紙編集部)

第26回関東甲信越静岡公民館 研究集会分科会から

情報化時代

昨年9月宇都宮市で行なわれた第26回関東連研究集会には1,300名が14分科会に分かれて研究討議。その記録から「情報化時代と公民館」分科会のあらましについて紹介する。

司会者 (茨城県) 石川 元之
発表者 (茨城県) 沼田 周
助言者 (茨城県) 安藤 四郎



<討議内容の柱>

- 1 公民館の中で視聴覚機材をどのように活用していけるか
- 2 視聴覚機器及び機材・教材の管理貸出しについて
- 3 著作権について

<発表内容>

日立市は茨城県の北部に位置し、東に太平洋を望み、西に阿武隈山地を背負った人口20万余の都市である。市は、住むまち、はたらくまち、楽しむまちとして、文化の香り高いまちづくりをめざし、市内には公民館10館、市民会館2館、博物館・青少年の家などを有し、5年前には視聴覚センターが建設され活動を開始している。今後はこの施設をいかに効果的に活用し、市民の期待に応えていくのかということが課題である。

現在、情報の収集配布等について、地域活動の拠点としての公民館が果たしている役割は大きい。

1 視聴覚センターと公民館

視聴覚センターは、視聴覚機器及び機材、教材を一手に扱っているが、そういう中で公民館がこれらをどのように活用していくかが課題である。視聴覚センターでは、手づくりの教材を欲しがっている。誰がどういふものを持っているかを知らせる仲介役としての公民館の立場がある。

(1) 視聴覚センターの機能

ア 教材、機材の整備・保管・充足

市民手づくりのTP・VTR・8ミリ映画等についての買い上げや、長期借用等について考えていく。これらの発掘は公民館における情報収集等にまつところが大きい。公民館からの依頼による教材資料の作成も行う。

イ 教材、機材、配送とシステム

職員1名が専任、この配送車の働きは単なる配送にとどまらず、各地域、施設でのコンサルタント的役割も果たす。

ウ 広報

視聴覚センターニュースを関係機関に配布、教材の作成、試写映画、放送利用等に関する相談などがある。公民館としてもこの視聴覚センターについての情報を把握し、PRにつとめている。また、これらの事業に公民館職員が参加していくようにしている。

エ 研究の充実

一般市民・団体等を対象にした16ミリ映写機操作、8ミリカメラ、お母さんの写真教室、放送教育指導者研修等を行っている。公民館職員の研修参加をすすめている。

オ 自主グループの育成

ビデオサロン・8ミリ同好会・よい映画を見る会等。社会還元、ボランティアの奨励を図る。

2 公民館における視聴覚機器の利用

(1) 視聴覚機器利用の観点

生涯教育、生涯学習の要請が高まる中で、視聴覚機器が重要な役割を果たすことはいうまでもないが、これらには利用に発しての落とし穴がある。公民館の職員はある意味では、機械文明の防波堤になっていかなければならない。

重要なことは、機器の持つ特性を研究し、そのマイナス面を補いながら使うことであり、またどうしてもその

実践記録シリーズ

(6)

昭和元禄、泰平の時代といわれて久しい。そしてまた人々の気持の中に流意識を持つ者が着実に増えてきているという。こうした傾向は、当市の場合でも極く一般的な市民感

として大きな問題意識もなく、平

昭に昭和五十九年度を終えようとしていた前年三月のある日、公民館のスタッフは、従来とは一寸変わった公民館大会を創り出そうと試みたのである。

我々公民館職員が留意すべきは、各地域にある住民の問題意識を、いかに掘り出し公平に事業へ結びつけるかということであった。

両津市公民館大会



公民館活動実践記録シリーズを復活しました。活動の苦心談・成功例などご送稿ください。

地域課題に取り組む

大きかった開催の意義

二、今、何が問題か

しかしながら、法規や条例によって行われる一般行政サービス事務とは異なり、公民館がその地域独自の文化の創造に視点を置いて運営されるという原点を思い起すとき、住民の関心を引きつける事業の企画がいかにむずかしいものであるか、という点もいつも意識させられるものである。また「公民館大会」である以上、単なるお祭りであってはならない。

三、参加者の範囲と運営体制

③第三分科会「今、公民館が地域振興に果たす役割を考える」

今も地域の公民館が生涯教育実践の殿堂として磨き上げられていく以上、可能限り多くの参加者をと、基本的には多岐にわたるが、当然の範囲内だけでなく、地域の住民が持つべき力を発揮して、実

四、意見発表と分科会協議

①第一分科会「青少年問題(発表要旨) 私の子供を持つ親

であるが、現在小・中学生はい

い。しかし、従来から子供を健やかに育てるには、家庭や学校という枠内だけでなく、地域の住民が持つべき力を発揮して、実

化

②第二分科会「生活の合理化

である。行政側もその点を反省し今後の努力に期待したい。

現代の社会は、経済の高成長を期を経て大量消費にも、すっかりなじんでしまったようである。市

協議結果

①(発表要旨) 行長館は、住民へのサービス機能である。活動は何でもよい。リーダーの養成が求められているが、やさ気のある人間作りこそ重要だ。今の若い者は、やる気がないのでなく、やる方法がわからないのだ。時には、若い者に花を持たせる。出番を作る、責任を持たせ等の相互信頼が必要だ。また伝統を継ぐと共に、新しいものにチャレンジする意欲が必要だ。

②(発表要旨) 行長館は、住民へのサービス機能である。活動は何でもよい。リーダーの養成が求められているが、やさ気のある人間作りこそ重要だ。今の若い者は、やる気がないのでなく、やる方法がわからないのだ。時には、若い者に花を持たせる。出番を作る、責任を持たせ等の相互信頼が必要だ。また伝統を継ぐと共に、新しいものにチャレンジする意欲が必要だ。

協議結果

協議結果

協議結果

協議結果

一年を振り返り、何が一番地域の課題となったか、その課題を地域全体のものとして取り組む努力、経過がどうだったかではないか。我々は、スタッフ間の討議を経て次の三つを五十九年度公民館大会における分科会テーマに決定すべく最終的に館長の了解を得た。

①第一分科会「青少年を健全に育成するための課題」

②第二分科会「生活の合理化を進めるため」

③第三分科会「地域振興」

(発表要旨) 行長館は、住民へのサービス機能である。活動は何でもよい。リーダーの養成が求められているが、やさ気のある人間作りこそ重要だ。今の若い者は、やる気がないのでなく、やる方法がわからないのだ。時には、若い者に花を持たせる。出番を作る、責任を持たせ等の相互信頼が必要だ。また伝統を継ぐと共に、新しいものにチャレンジする意欲が必要だ。

小須戸町公民館

はじめに
小須戸町は、東側は陸奥湾、西側は信濃川が流れる人口約一万千の町です。公民館は町のほぼ中心に中央館が、各地区に分館が四分館設置されています。

今年度当初、図書室の読書普及を目標として、さまざまな方法で、蔵書冊数は一万二千冊、昨年度利用者数は二万三千人でした。

親子文庫繁盛記

子供たちに広めたい楽しい読書

一、読書普及対策としての年代に絞る。
二、公民館図書室周辺に貸出し利用者が集中している地域を重点的に活用する。
三、図書室主任職員がいらない努力を要する。
四、図書室主任職員がいなくても、子供たちが読書を楽しむことができるように工夫する。

そのために対象は、幼稚園児にすることにしました。対象を幼稚園児にしたのは、二つの理由がある。それは小須戸町の人口のほとんどが幼稚園児集まっていることである。おかげで幼稚園時期の子供に対し、公民館図書室周辺に利用者が集中していた地域を重点的に活用することが可能である。

来年度に向けて、「親子文庫」の基本方針は変わりませんが、ぜひ幼稚園との連携を許し、毎週一回の貸出しを実現したいと考えています。それと、今の幼稚園児達が卒園後の読書環境の充実を、公民館図書室を移動図書（小学校へ）の活用しながら、実現したいと思っています。



短時間に150人分も貸し出す

用者が集中している地域を重点的に活用する。今年度当初、図書室の読書普及を目標として、さまざまな方法で、蔵書冊数は一万二千冊、昨年度利用者数は二万三千人でした。

そのために対象は、幼稚園児にすることにしました。対象を幼稚園児にしたのは、二つの理由がある。それは小須戸町の人口のほとんどが幼稚園児集まっていることである。おかげで幼稚園時期の子供に対し、公民館図書室周辺に利用者が集中していた地域を重点的に活用することが可能である。

来年度に向けて、「親子文庫」の基本方針は変わりませんが、ぜひ幼稚園との連携を許し、毎週一回の貸出しを実現したいと考えています。それと、今の幼稚園児達が卒園後の読書環境の充実を、公民館図書室を移動図書（小学校へ）の活用しながら、実現したいと思っています。

プロフィール

山古志村公民館社会教育主事

若 槻 敬氏(42才)

錦鯉と鯛の里。村の歴史は頂から谷まで階段状に展開しており、その中に十六の集落が点在している。数年前まではほとんどが農家であった山村も現代社会の変化によって近隣市への通勤、共働き、映像文化のはんらん。小家族化、共同体意識の稀薄化等々明らかに変化しつつある。昭和五十九年七月待望久しかつた村民会館の新築によって、その中に公民館の本館を設け、全村の社会教育施設の中核とした。旧来の基礎集落にあった五地区館を分館として、その連携をはかりながら、きこまかな活動を行って、しかしながら、職員構成の面では貧弱で、専任職員は若槻社会教育係長一名のほか非常勤職員として社会教育指導員一名だけで極めて少い。正に山村の社会教育は若槻社



山古志村公民館長 若上守二

公民館文芸

新潟市中央公民館発行の「文芸にい
がた・第五号」から、文学賞と奨励賞
に選ばれた作「詩」二編を紹介する。

ハルジオンの花の上に

北 畠 桂 子

気がつくとも、自分だけの小さな世界をほんやりと独樂を回して、
ましたが、独樂は頭をぶっつけて、横柄したり、はじめから手が
すべって回らなかつたり、へんやうなとどめなく回つたり、けたり
しました。独樂をまわして、いとも思ひ独樂の心棒の先端に筆ま
り、筆まのながら、いとも思ひ、いとも思ひ、いとも思ひ、いとも思ひ、
ることのないように、筆中の独樂の求心力に頼りながら、深の所へ
閉じてゐるのですが、時どき、いとも思ひ、いとも思ひ、いとも思ひ、
す、そのたびに、筆を、筆を、筆を、筆を、筆を、筆を、筆を、筆を、
決して人に見せては、いけません。いけません。いけません。いけません。
のですが、あまのの、あまのの、あまのの、あまのの、あまのの、
の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
互に、互に、互に、互に、互に、互に、互に、互に、互に、互に、
て、て、て、て、て、て、て、て、て、て、て、て、て、て、て、
春になると、いとも思ひ、いとも思ひ、いとも思ひ、いとも思ひ、
ン、ハルジオン、ハルジオン、ハルジオン、ハルジオン、ハルジオン、
猫を回して、回して、回して、回して、回して、回して、回して、回して、
咲き出した、ハルジオンの、ハルジオンの、ハルジオンの、ハルジオンの、
開く時は、心か、心か、心か、心か、心か、心か、心か、心か、心か、
わらわら、花びらが、花びらが、花びらが、花びらが、花びらが、花びらが、
今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、
た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、
た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、た、

母なる者

二見 雄 典

真綿雪の降るよる。
鏡鏡に行くのが、熱いといふ、感じ
始めた頃。
私は成年になった。

私は教える子になった。母は多
陽のよりに教える間もなく消えた
その日。
ちいさいころ、灯りを、海の上
わりの灯のよりに、正確に、
て、私に、私に、私に、私に、私に、
あらかね、あらかね、あらかね、
うた、うた、うた、うた、うた、
ひと、ひと、ひと、ひと、ひと、

りに行けるその旅は、人間の
音のする方へと、流れるよるだ
った。私は母の背で、静かに、
に、に、に、に、に、に、に、に、
ふた、ふた、ふた、ふた、ふた、
母の、母の、母の、母の、母の、
ひると、ひると、ひると、ひると、
を、を、を、を、を、を、を、を、
と、と、と、と、と、と、と、と、
る、る、る、る、る、る、る、る、
り、り、り、り、り、り、り、り、
言、言、言、言、言、言、言、言、

内部で、私は、私は、私は、
表情を、表情を、表情を、表情を、
にして、母と、母と、母と、母と、
らうから、私に、私に、私に、私に、
母は、母は、母は、母は、母は、母は、
た、た、た、た、た、た、た、た、
ら、私に、私に、私に、私に、私に、
で、で、で、で、で、で、で、で、

湯気のなかで、母の、母の、母の、
中が、中が、中が、中が、中が、中が、
になり、その、その、その、その、
も、も、も、も、も、も、も、も、
り、り、り、り、り、り、り、り、
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、
っている。
私を、私を、私を、私を、私を、
昭和の、昭和の、昭和の、昭和の、
い、い、い、い、い、い、い、い、
来た、来た、来た、来た、来た、来た、
ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、ら、
感じる、感じる、感じる、感じる、
腹、腹、腹、腹、腹、腹、腹、腹、
の、の、の、の、の、の、の、の、
の、の、の、の、の、の、の、の、

公民館叢書

朱膳寺春三著 「公民館の原点」

四六判三〇八ページ 頒価一、二〇〇円 (送料一部二五〇円)

田代元弥著 「公民館から見た日本の教育」

四六判一三八ページ 頒価一、〇〇〇円 (送料一部二五〇円)

「公民館の原点」の著者、朱膳寺春三氏は元会館理事。宮城
県本吉町公民館長を、同県公民館連合会長などを歴任。同刊を
定年退職後上京して、鎌倉市中央公民館長に迎えられるまで、
草創の発案者、後援者の公民館人として活躍された人。
また「公民館から見た日本の教育」の著者田代元弥氏は、大東
文化大学教授「公民館のあるべき姿」と今日の課題「専門委員」を
中心に、生涯教育時代を期した公民館のあり方、会館運営の専
門委員を歴任。二月刊公民館「編集委員会」でも活躍されて
いる。本年度県公民館大会における基調講演者。
右の二冊、本会事務局であらせん。

あとがき

「節分」を過ぎ、春の、春の、春の、
ぬき、ぬき、ぬき、ぬき、ぬき、ぬき、
ように、ように、ように、ように、
油断が、油断が、油断が、油断が、
一日も、一日も、一日も、一日も、
れる、れる、れる、れる、